

2015

【国際親善空手道選手権大会】

～4月18日、19日 東京体育～

一般部以外での極真空手最高峰の国際（世界）大会に横浜川崎支部成田道場から6人参戦し、入賞は準優勝一人でした。

世界女子中量級成田陽子は最年長で出場し、昨年のリベンジ戦となったロシア軽量級チャンピオンとの対戦、前半強い突きの連打でガンガン前に出て優位な展開でしたが、ラスト30秒の激しいラッシュ攻撃に対応できず勝利を逃した。世界女子大会に、最年長、子育てしながらの参戦、善戦はママさん空手、日本一、世界一かも！？

高校1年—65kg級加藤翔大は初戦ロシアの選手に見事な上段蹴りで技有を奪取し勝利したが次の試合は前年3位のロシア選手に延長突きの連打に対応できず敗退。

中学1年—55kg級幸田陸は初戦過去に勝っている相手でしたが大きな舞台での極度の緊張感により、本来の実力を発揮する事ができず残念な敗退、今後は実力絶対値を上げよう！

壮年40～44歳—80kg級酒井静雄は初戦から壮年全日本チャンピオンとの対戦でしたが、気持ちで負けることなく、相手の嫌がる下段蹴りは有効であったが一枚上の組手を痛感させられる敗退となった。少年部による「さかい！さかい！」の応援コールはありがたかったでしょう！

準優勝

壮年 35～39 歳 + 80 kg 級

木本 貞治

壮年部初参戦の木本がいきなり国際大会で準優勝の快挙！

長い間一般部の試合に挑んできた**努力は無駄ではなかった！**

社会人ながら週2回のクラス指導をベースに地道にコツコツと稽古してきた成果は他の壮年部選手と**技の切れ、技の重厚感**で差があった！決勝戦はスタミナ不足！克服して来年は国際チャンピオンだ！

夢の世界戦！

師範 成田武治

49歳で歴史的勝利！

マスターズクラス35歳以上無差別級

現役選手時、目標、夢は4年に一度の世界大会出場でした、その夢叶わず膝の手術もあり42歳で引退、あれから7年、**世界大会で活躍した選手と戦えるチャンス！**新たにできた35歳以上のマスターズクラスに無謀にも挑戦してしまいました！「よく出場しますね！」と出場する事に感動され、賞賛の声を多数頂きました、、、誰もが「勝てる訳はない！」と思っていた事でしょう。4年前の世界大会4回戦進出のルーマニア代表ニコラエ選手37歳との対戦、本戦、手応え十分！前に出る！突きまくる！自分の組手ができました！スタミナでも負ける気がしなかった！

少年部クラスでも、少年選手クラスでも、一般選手との稽古でも自分が一番苦しい稽古をしようと心掛けてきた約4ヶ月、**週ごとに強さが戻る感覚**は苦しいどころか、「**最高に楽しい！**」日々。皆さんのお陰で本当に良い稽古ができました、東京体育館一番の最高の応援の声！皆さんの祈りのお陰様で、空手人生最高の試合！最高の気持ちいい勝利！をできた事を心より感謝申し上げます！**来年は打倒ルネフ！打倒ロシア！**を今度は1年掛りでやりますかね！身体がもてば、、、